



事變二周年記念日に

樂隊先導の愛國行進

當日の平市に於ける各種行事
郷軍聯合分會では記念式

事變二周年を迎へる来る七月七日の平市では在郷軍人聯合分會に於ける松ヶ岡忠魂碑前の記念式を初め市及び各學校に於ては皇軍の戦歿將士に對する感謝と武運の長久並びに長期戦に備へる覺悟等についで夫々の備ある筈であるが當日平青年團では忠魂碑前に一同

福島局の事變國債

平より九萬圓低い

第九回目迄の累計額に於て
今十回で十萬圓の差が

平郵便局に於ける第十回の支那事變國債消化額が官衙、會社等のボーナス期を見た貯蓄債券賣出しに力を入られた影響で最初の豫定より若干を減少する三萬圓に止まり前回まで數回を重ねた好成绩に比し甚だしき劣りを見せたのであるが三萬圓の賣上げは尙ほ第五回目の二萬三千四百四十圓より遙かに優れ第九回までの累計四十四萬三千五百二十五圓に加へて四十七萬三千餘圓に達したことは既報せるも縣下四市二町に於ける第九回までの右累計額を上れば左記の如くである
▲第二位福島三五〇二七五圓(第一位の平より九萬三

靴下のことはワシ、襪をチエニー、肌衣はハンシアン、襟を領子と云つてリント、帯のことはタイツ、帯皮はピータイ、外套を大衣と云ふ場合タイイ、外套はソイタオ、

支那語

實家には母みやさん(美)長男清二君(三)次女秋子さん(二)及び清二君妻八重子さん(三)との間にちか子さん(七)しげ子さん(五)がおり酒類、醬油販賣業を営んで

改組の平市青年團

聯團と三方部團長

篠山第一校長の下に三校長
市内を東西北に分けて

平青年團では昨二十六日午後二時から第一小學校講堂に於て團の改組に關して總會を開き幹部級二百餘名出席、團旗入場、開會の後國歌奉唱、宮城遙拜、戦歿將士に對する感謝の辭、旨言捧讀並びに秩父宮より賜はる御言葉捧讀、山崎團長の挨拶、終つて團務報告、市内三團から一名づつ、の優良團員表彰及び特に功勞ありたる團員數名に對する感謝狀贈呈ありて議事に移り

満支の視察から(二)

六月二十日快晴
六時起床、食後爲替取組みの爲め第四銀行に至る、この爲め要領を得ず再び不安に襲はれ念の爲め満鐵案内所に至る、事務員多數尋ねし處に満支のことは満州と北支とを混同せし由にて、北支は現金千圓、信用狀千

時出航、愈々これから五十日間一人旅かと思ふと淋しい様な感じになる。
船は月山丸、四千五百十五噸、同室は六尺疊かの白糸露人と探金會社の事務員と云ふ二十五歳の青年と親分らしき面構への五十からみの人と四名である。四時頃入浴、五時半夕食、六時過ぎ佐渡沖通過、海上風波なく鏡の如くまるで湖水を進んでゐるやうだ。

平市會

七月一日に招集
平市會は来る七月一日午前十時から招集することになつたが件目は特戸割賦課徴收期日の變更その他の模様である

水上救助法講習會

指導者養成の爲
水上救助法の講習會は日本赤十字本縣支部主催で来る八月一日から三日間師範學校及び

戰地の便り

全支に亘る討伐に

参加する光榮を

高橋武尙
平市研町出身
謹啓、其の後は心ならずも御無音に打過ぎまして誠に申譯なく何卒悪からず御許し下さい、故郷の皆々様に御變りもなく益々御壯健にて御國の爲めに銃後の護りに御心盡し下されまして誠に有難く心から感謝いたし居りますと共に厚く御禮申上げます、小生出征後は家中のものが色々とお厚情に預りまして且つ小生如きものにまで何かと御心配下さいまして何とも御禮の申し上げ様もなく只々感謝に胸打たるのみ厚く厚く幾重にも御禮申上げ

輪王寺宮御旅泊

遺蹟建碑趣意

御遺蹟保存會謹識
御兩家三人、子爵四人、縣廳及中央五人、神主三人、泉方部五人、平市内官公署五人、新聞記者一〇、本會關係者三五人、外不時來賓一五、計二〇〇を豫定、一金四〇、〇〇〇、除幕式

明日の運勢を花札にて卜し居る、捨て難き純情である、十時臥床

水上救助法講習會

指導者養成の爲
水上救助法の講習會は日本赤十字本縣支部主催で来る八月一日から三日間師範學校及び

戰地の便り

全支に亘る討伐に

参加する光榮を

高橋武尙
平市研町出身
謹啓、其の後は心ならずも御無音に打過ぎまして誠に申譯なく何卒悪からず御許し下さい、故郷の皆々様に御變りもなく益々御壯健にて御國の爲めに銃後の護りに御心盡し下されまして誠に有難く心から感謝いたし居りますと共に厚く御禮申上げます、小生出征後は家中のものが色々とお厚情に預りまして且つ小生如きものにまで何かと御心配下さいまして何とも御禮の申し上げ様もなく只々感謝に胸打たるのみ厚く厚く幾重にも御禮申上げ

同校プールに於て開催、不慮の溺者の救護教育の普及を計るべく之れが指導者を養成する目的で講習生は學校、警察署、水泳教師、在郷軍人分會警防團、學生、船員等から七十名を豫定し希望多き場合は證明することになつてゐる講師は日本水上救助聯盟會長森秀臣氏である

水上救助法講習會

指導者養成の爲
水上救助法の講習會は日本赤十字本縣支部主催で来る八月一日から三日間師範學校及び

戰地の便り

全支に亘る討伐に

参加する光榮を

高橋武尙
平市研町出身
謹啓、其の後は心ならずも御無音に打過ぎまして誠に申譯なく何卒悪からず御許し下さい、故郷の皆々様に御變りもなく益々御壯健にて御國の爲めに銃後の護りに御心盡し下されまして誠に有難く心から感謝いたし居りますと共に厚く御禮申上げます、小生出征後は家中のものが色々とお厚情に預りまして且つ小生如きものにまで何かと御心配下さいまして何とも御禮の申し上げ様もなく只々感謝に胸打たるのみ厚く厚く幾重にも御禮申上げ

迷惑した四名

飛んだ八當り
石城郡内郷村の宮城北炭礦請負業三浦方雅夫高橋武(三)氏佐藤三郎(三)は去廿日同郷附近で見知らぬ男と口喧嘩で別れ廿四日や直すつもりで午後十一時過ぎ内郷館の活動歸りに相手を探したが見當らず其の腹藏せに警察の運搬夫小林義正(二)家山義雄(八)有賀時秋(二)同郷製糖作所の加藤武夫(八)を單り、呼んで毆り頭部に全治一週間を要する傷害を與へて檢挙取調中

輪王寺宮御旅泊

遺蹟建碑趣意

御遺蹟保存會謹識
御兩家三人、子爵四人、縣廳及中央五人、神主三人、泉方部五人、平市内官公署五人、新聞記者一〇、本會關係者三五人、外不時來賓一五、計二〇〇を豫定、一金四〇、〇〇〇、除幕式

農業の機械化

今や轉換期

【七】
勞働力の不足に
經營の合理化も

故に一日には四反歩から五反歩を耕し得て馬耕によるものに較べて二倍以上の能率をあげ、しかも馬耕は單に掘るのみであるのだがトラクターは同時に碎土も出來て燃料は一反歩につき石油一升で足りるから人夫賃とも合せて反當り一圓以内の經費でもつて済むのであるが馬耕であるとい反歩二圓五十錢を要する、能率的にも經濟的にも遙かに有利である、かつ普通農家に於て使用してゐる三馬力乃至三馬力半の發動機を利用出来るので結局三百圓から三百五十圓で購入出来る、

三種の性能試驗結果

新潟縣の農事試驗場に於ては縣下農村の勞力不足の對策として自動耕耘機利用者増加に鑑み、市場に現はれた廣瀬式、板野式、スエヒロ式三種の性能試驗を實施、その成績を過般長岡市で開いた縣下農業技術員會議に發表した三種の特長は、

▲廣瀬式、發動機を機械の前面に固定させチェーンと齒車で機械の中間軸及び曲柄軸を回轉させ、土を切削する爪を付したコウカンの上下運動により耕耘と同時に無限軌道を回轉進行する
▲板野式、廣瀬式と同様發動機を前面に固定させ、中間軸とベルト連結、この軸に二つのクラッチを設け一方は運行用車輪の内部に噛み合ふビニオン軸に、他方

は回轉爪にそれくチェーンで連結してある、
一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

平市五町目角

山野邊藥局



幸福の父
健康の母たらんには
召し給へ！
機那サフラン酒は
子寶を得て見し。

定價 二瓶 四角 一打 四元
房藥郎太仁澤吉

機那サフラン酒

根本産婦人科醫院

平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話 三四番
(入院隨時)

江尻醫院

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話 六九一番

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

日下家政婦會

便利で經濟な日下家政婦會の
派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です
平市白銀町十番地 (電話七二三番)
會長 日下すい子

高屋茶店

質を高く 味を低く
良品廉價 是は
高屋茶店

帝國保險株式會社

海上 火災 保險
平代理店 關内正
事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目 電話 一六番

國民精神總動員
日本國民必見の書……
内閣情報部發行
寫真週報
1部 10セ
お取次致して居ります
平 西村屋藥局 電三

高久病院

平市田町 電話 五二三番
院長 醫學士 高久忠

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

レストラン サロ

電話 五九二番
に變りました

食 事。
喫 茶。
酒場を兼ねた。

平市銀座街

つるや

涼味そる
夏物洋品愈々進出

スマートなカンカン帽子
可愛らしい…お子様帽子
婦人・子供清潔着
その他色々陳列

四 平 電 140

平看護婦會

三新時代の要求
研習事業に際し看護婦を特設いたし
皆様の御用向へ身元確かなる婦人を
派出致します。

平市南町 電三〇七
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭